

# 京都市議会代表質問

京都市議会11月定例会・代表質問が11月28日に行われ、日本共産党のくらた共子、森田ゆみ子両議員が質問に立ちました。

災害対策強化・ホテル総量規制

くらた共子 議員

くらた議員は災害対策強化やホテル総量規制への方針転換を門川市長に迫りました。



くらた議員

災害対策では、▽被災住宅への改修支援制度の拡充や住宅改修リフォーム制度の創設▽避難所の指定を受けている学校施設の早急な整備—を要求。併せて、区役所職員を3年間で約400人削減したこ

とで、り災害明書の発行の遅れなどの被災者支援に遅れが生じたことを指摘し、職員体制の拡充を求めました。

岡田副市長は、今回の災害教訓を踏まえ、「区役所への全庁的バックアップ体制や災害時の区役所の防災体制の強化を図りたい」と答えました。

社会問題となっている市内のホテル建設ラッシュに対して、くらた議員は「過剰供給となり、町を飲み込む勢いだ」と指摘。市の宿泊

施設が老朽化・劣化が著しい見直しやホテル・旅館宿泊客の誘致と宿泊客数の増加を求めました。

門川市長は、ホテルラッシュによる宿泊客数の増加・住居環境劣化などを引き起こしているとして、対策を求め、引き続く宿泊施設の誘致を求めました。

# 災害対応に遅れ、体制拡充を